

工 事 仕 様 書

- 1 工事名称
広場複合遊具設置（やっちくふるさと村ふれあい広場）
- 2 履行期限（工期）
契約日から令和7年2月28日まで
- 3 工事場所
やっちくふるさと村ふれあい広場（松山町新橋1526番地4）
- 4 遊具の新設に関する条件
 - (1) 設置する遊具等
 - ア 幼児・児童用複合遊具 1基（参考図面と同等以上のものとする）
 - イ 遊具の遊び方の利用説明板 1基（参考図面と同等以上のものとする）
 - ウ 健康遊具 3基（参考図面と同等以上のものとする）
 - エ 健康遊具の利用説明板 3基（参考図面と同等以上のものとする）
 - オ 幼児・児童用複合遊具の対象年齢は概ね3歳～12歳とするが、幼児用（概ね3歳～6歳）と児童用（概ね6歳～12歳）にエリア分けをし、分かりやすい箇所にそれぞれの対象年齢をシールなどで表示する。
 - カ 遊具の使用期間が長寿命化するようにSP表示認定製品とし耐食性に優れたものとする。
 - キ 遊具は維持管理（交換・修理）がしやすい材質とすること。
 - ク 遊具の遊び方、注意事項を記載した利用説明板を適切に配置すること。
 - ケ 一般社団法人日本公園施設業協会の公園施設賠償責任保険もしくは発注者が同等と認めた賠償保険に加入した製品とする。
 - (2) 遊具の安全規準
「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」国土交通省及び「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024」（一般社団法人日本公園施設業協会）に準拠すること。
- 5 工事仕様
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各工事標準仕様書（最新版を採用）
- 6 諸手続き
工事実施上必要な諸官公署、その他への手続きは遅延なく行い、それに要する費用一切は請負者負担とする。
- 7 相隣関係
 - (1) 本工事の工事着工前に現場周辺地域の事前調査・説明を必ず行い、家屋・構造物等の施設については現況写真をわかりやすいように細かく撮影し、書類として2部

作成し、1部を監督員に提出すること。

- (2) 工事に関し、場内での人、道路、構造物等に損傷を与えた場合、その他全ての相隣関係は請負者が責任を持って直ちに事にあたり、処理解決すること。

また、それに要する費用一切は請負者負担とする。

- (3) 工事途中において、工事内容により大きな振動・騒音等がやむを得ずおこる事が予想される場合は、事前に周辺住民に説明を行うこと。

8 軽微なる変更

施工上、技術的な軽微な変更は、監督員の指示により施工者の負担で施工すること。

9 工事用動力、用水

工事用の動力及び用水、その他必要な仮設物については、請負者の負担で準備すること。

10 建設業退職金共済制度の普及徹底について

- (1) 建設業者は組合に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労務者について証紙を購入し、当該労務者の共済手帳に証紙を貼付すること。

- (2) 工事を受注した建設業者は、組合の発注者用掛金収納書を契約締結後、工程表と共に提出すること。

- (3) 建設業者が下請契約を締結する際は下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、必要な建退共の証紙を現物交付すること。

- (4) 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」である旨の標識を現場に掲載すること。

11 現場常備品

設計図書、各工事標準仕様書、工程表、温度計、晴雨表、各施工図、各承諾図、工事写真、見本品、日報、月報、資材搬入明細書、その他監督員の指示する物を常備すること。

なお、月報については月初め5日には監督員に提出すること。

12 総合打合会議

各工事施工の責任者は、現場において工程会議を行うこと。日時は監督員の指示による。議事録作成のこと。

13 提出図書、書類

各工事共通仕様書記載の図書及び書類その他監理者の指示する図書、書類及び写真等は指定する期日までに提出すること。

また、報告承認等は書類をもって行うこと。(使用材料中、材料試験、性能試験を要するものは、請負者の負担にて公的機関、指定工場で試験を行うこと。) 提出部数は指示する。

14 施工計画書・施工承認図の提出

各工事共、施工に先立ち施工計画書・施工承認図を提出し、監督員の承認を得た後、

施工すること。

15 火災保険

着工前に工事中の火災保険契約を行い、契約書の写しを提出すること。保険期間は工事着手より、完成後 21 日までとする。

16 その他

- (1) 請負者及び施工者は、建設業法その他関係法令、規則、条例等を遵守し、有資格者を必要とする工事については、必ず有資格者の施工によるものとする。
- (2) 材料納期を長時間必要とする材料、機器等は早期に監督員の承認を受け、工事工程に支障のないようにすること。
- (3) 細部については設計図書、建設工事請負契約書による。
- (4) 落札者は、契約後 7 日以内に内訳明細書を提出すること。
- (5) 産業廃棄物の処分には、関係法令に基づき適切に処分すること。
- (6) 本工事において、騒音規制法及び県公害防止条例に規定する特定建設作業を実施する時は、所定の手続きを遅滞なく行い、周辺の状況等を十分配慮して作業すること。
- (7) 本工事の一部が下請によって施工される場合、元請は優良な下請を選定し、施工技術の向上、雇用管理、労働安全管理等の措置について適切な指導助言、その他の援助を行うこと。
- (8) 請負者は、下請契約を行った場合は、建設工事下請通知書及びその注文書（契約書・建設業の許可通知）の写しを、下請契約の 5 日以内に監督員に提出すること。
- (9) 下請の選定にあたっては、地場産業育成の立場から出来るだけ地元の特許業者及び労務者の雇用促進並びに資材の使用に努めること。なお、それにより難しい場合（専門的分野等含む）は、事前に監督員に報告すること。
- (10) 工事期間中、周辺道路には工事関係者の車を一切駐車してはならない。現場敷地内に駐車スペースを確保して駐車すること。工事進入路については、監督員等と充分協議の上、範囲決定すること。
- (11) 大型重機、ダンプ等が出入りする場合は、交通誘導員を必ず配置し、十分安全を確認すること。
また、土砂が道路に堆積するなどした場合は、すみやかに土砂を取り除き、散水するなどの掃除を行うこと。
- (12) 請負者は、現場周辺の整理、清掃を最低週一回は必ず行うこと。
- (13) 請負者は安全連絡協議会を立上げ、現場周辺等の安全、衛生、保全に努め、トラブルがあった場合には、迅速かつ誠実に対応し、解決すること。
- (14) 材料納期を長期間必要とする材料、機械等は早期に監督員の承認を受け、工事工程に支障のないようにすること。
- (15) 本工事の契約締結（500 万円以上）後 10 日以内（土日祝日は除く）に工事实績情報システムの登録を行う場合は、速やかに監督員に届け出ること。

17 工事価格の積算基礎資料について

入札に伴う積算は設計図面を基に行うものとする。設計図面及に関する質疑については、入札までに書面にて受付けるものとし、落札後においては一切受け付けない。

18 現場代理人の兼任

(1) 現場代理人の兼任を認める工事

現場代理人は請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締り他工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項（請負代金の変更、契約解除等を除く。）を処理する受注者の代理人であるが、次のアからカのすべてを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

ア それぞれの工事額の合計が 7,000 万円未満であること。

イ 発注者又は監督員を常に携帯電話等で連絡をとれること。

ウ 兼任できる工事は国、鹿児島県及び志布志市が発注した工事で原則 3 件以内とする。ただし、工事の規模等を勘案の上、災害工事等の場合、発注者との協議によるものとする。

エ 兼任する工事は、いずれの工事現場も志布志市内であること。

オ 発注者又は監督員が求めたときは、現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。

カ 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、一日一回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。

(2) 手続き

現場代理人の兼任を行う場合には、兼任（変更）申請書を提出し、発注者の承認を受けたのち、必要に応じて、現場代理人等選任（変更）通知書により、発注者に通知すること。

なお、各々の工事現場において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。

(3) 受注者に対する措置請求

安全管理に不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第 12 条に基づき、受注者に対して、必要な措置をとるべきことを請求するものとする。



鹿児島県 志布志市全図

鹿児島県 志布志市管内図

新橋地区

道の駅松山

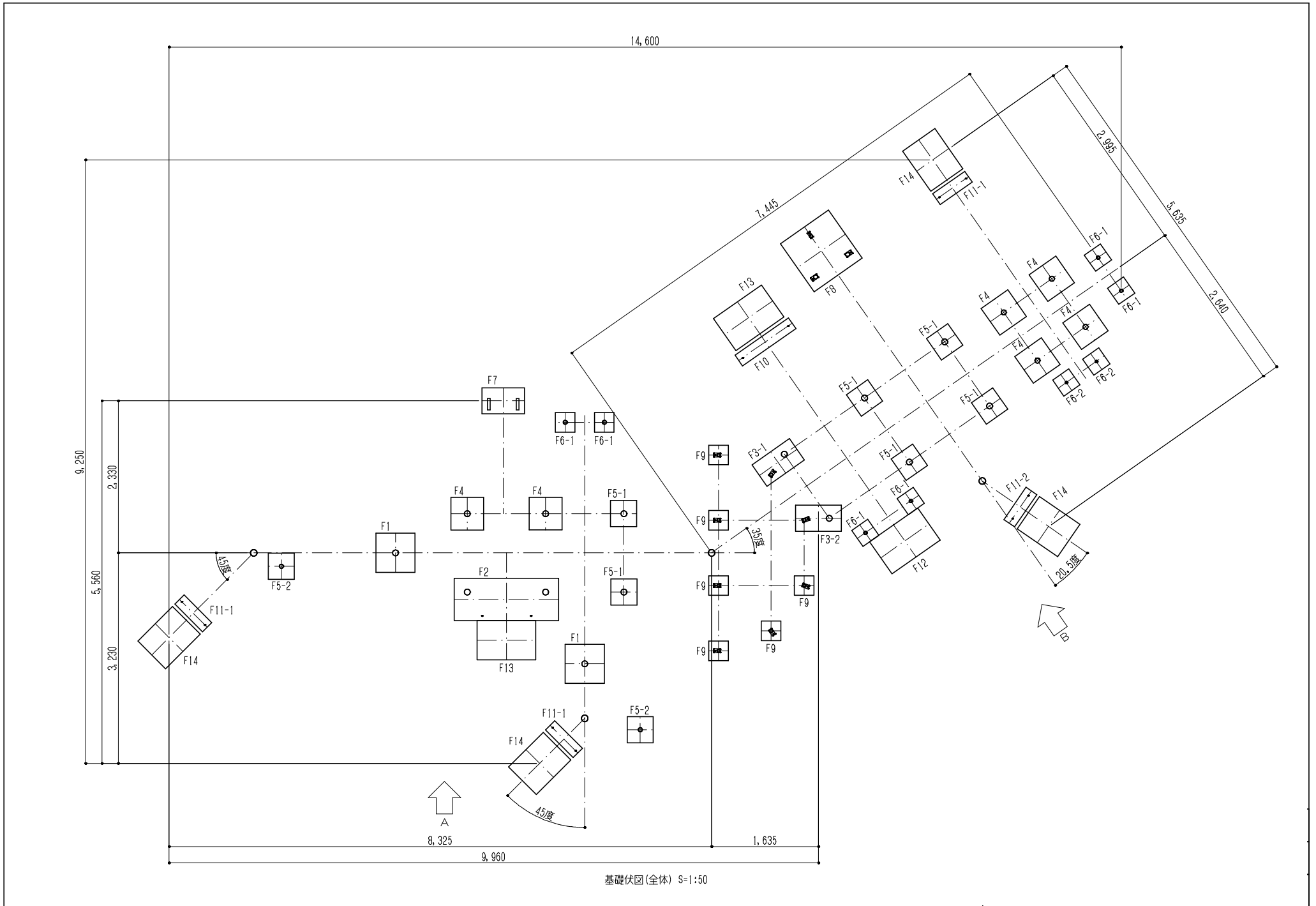
松山小学校

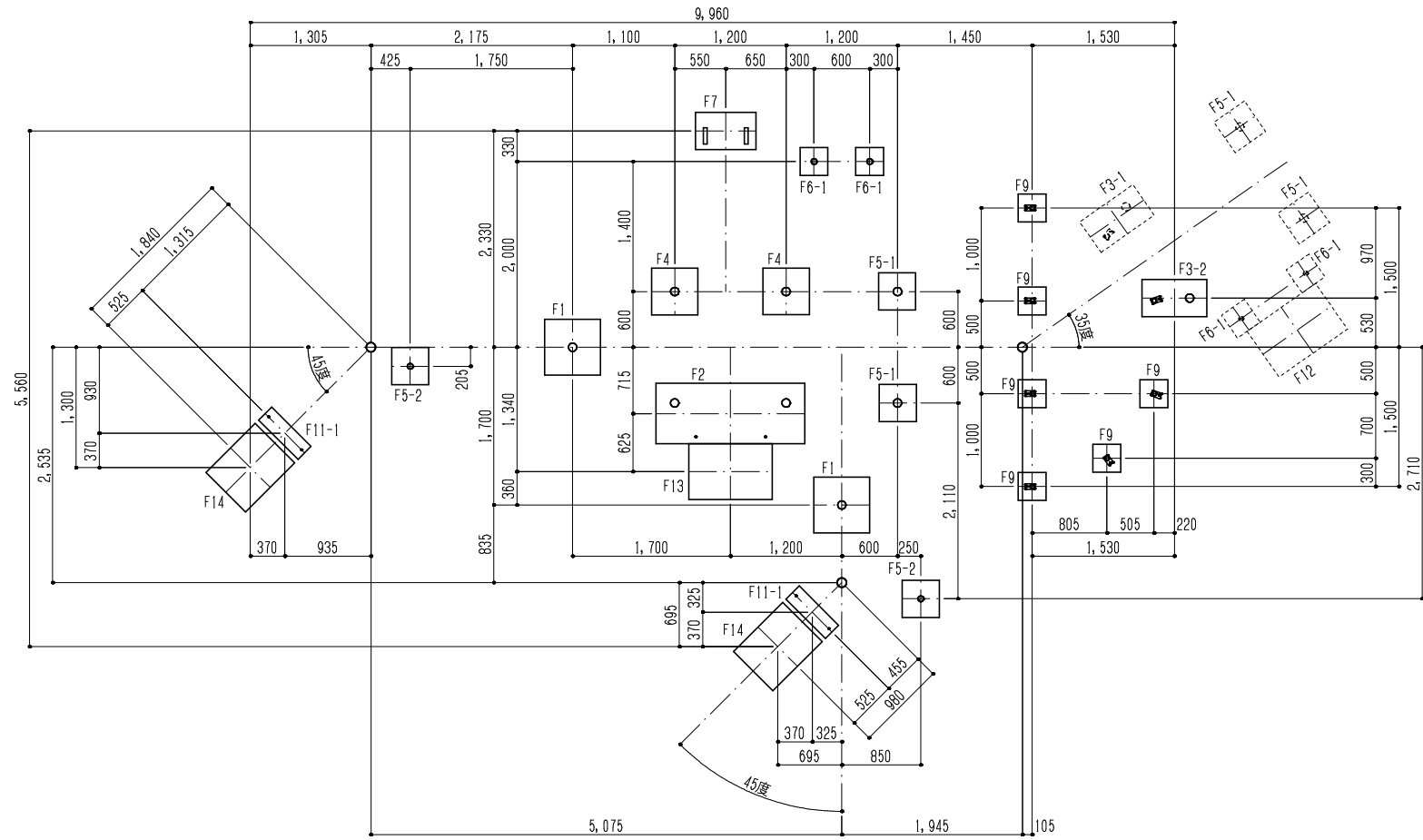
松山支所

志布志市役所

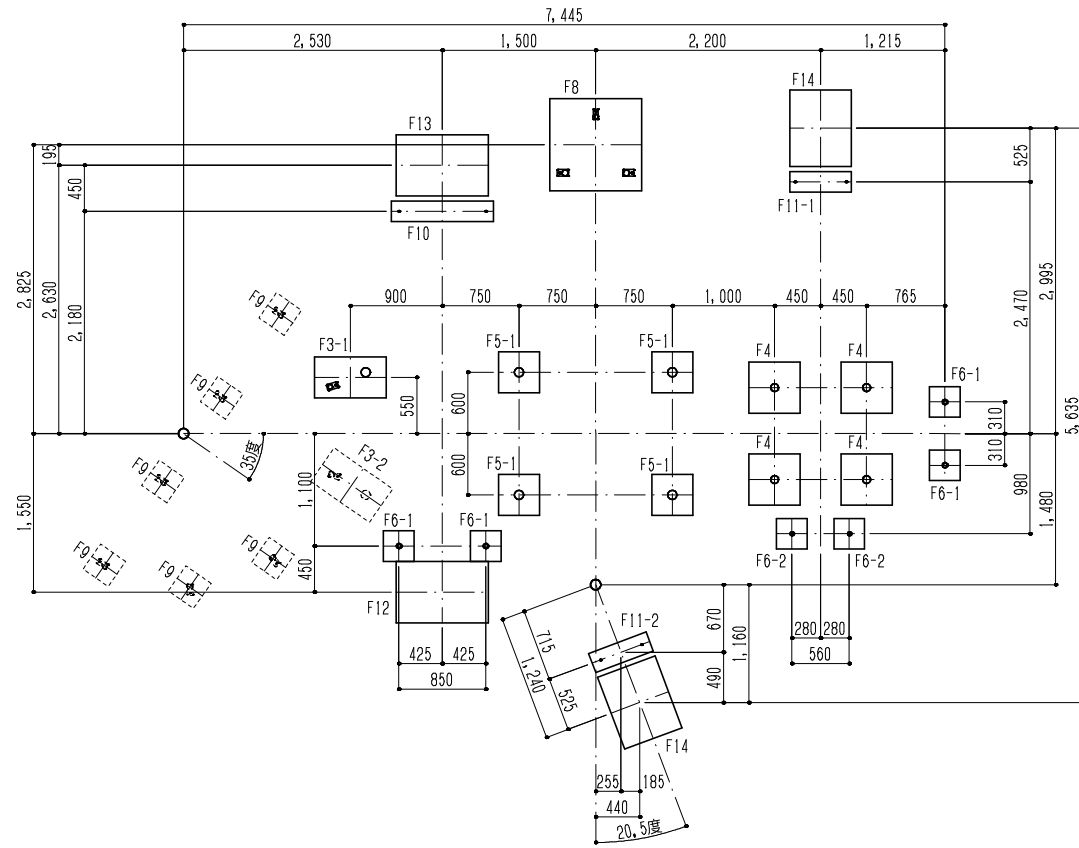
凡例	
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	広域農道
	高速・地域高規格道路



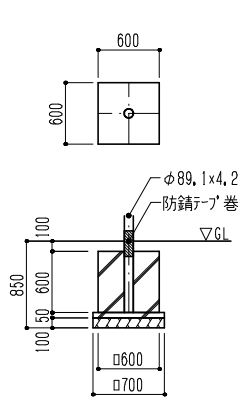




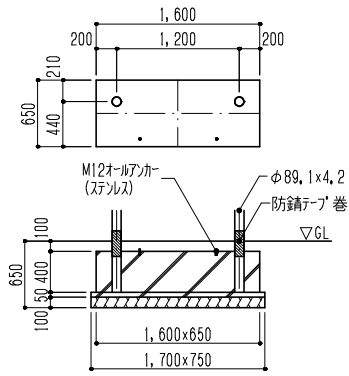
基礎伏圖(兒童功) S=1:50



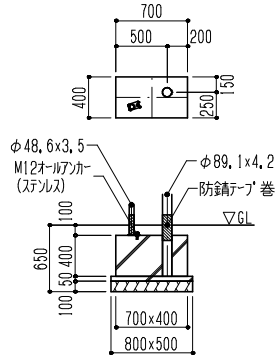
基礎伏図(幼兒班) S=1:50



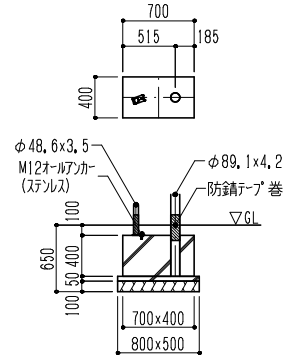
F1基礎 数量:2基



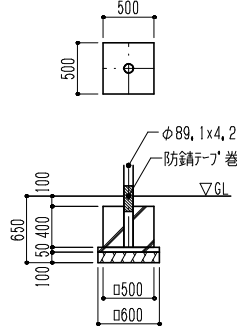
F2基礎 数量:1基



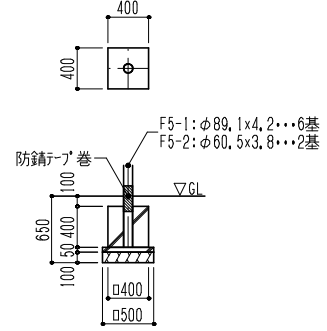
F3-1基礎 数量:1基



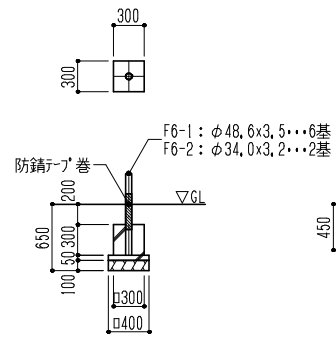
F3-2基礎 数量:1基



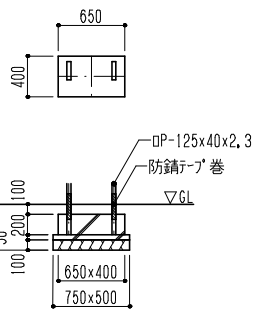
F4基礎 数量:6基



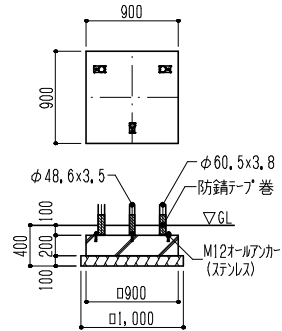
F5基礎 数量:8基



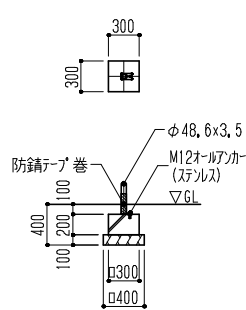
F6基礎 数量:8基



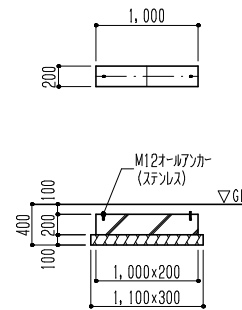
F7基礎 数量:1基



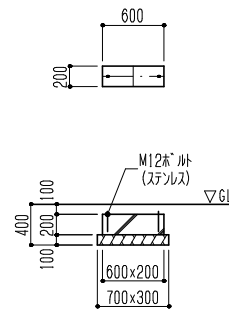
F8基礎 数量:1基



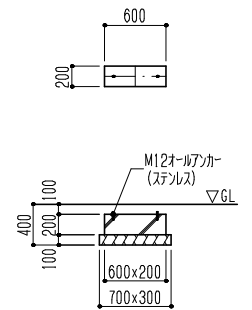
F9基礎 数量:6基



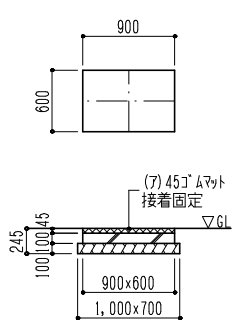
F10基礎 数量:1基
(ダンプスライダ-)



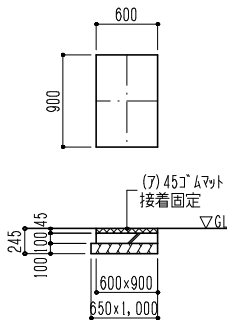
F11-1基礎 数量:3基
(スネークスライダ-)
(回転スライダ-)
(高速スライダ-)



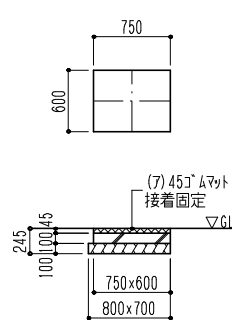
F11-2基礎 数量:1基
(Rスライダ-)



F12基礎 数量:1基
(ホ-トスライダ-)



F13基礎 数量:1基
(ロックスライダ-)
(ダンプスライダ-)



F14基礎 数量:4基

基礎数量表

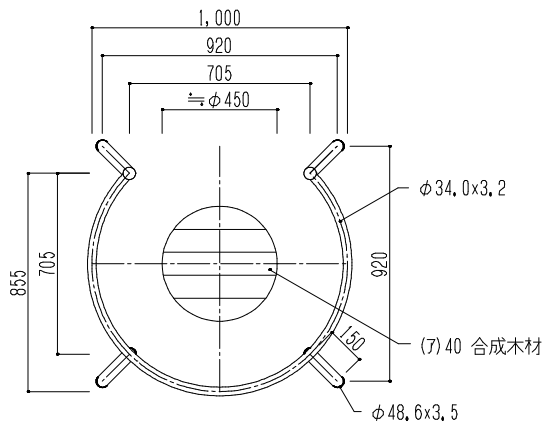
1.0基当たり

名称	計算式	数量	単位	摘要
床掘	F1 $(0.7 \times 0.7 + 1.21 \times 1.21) \times 0.85 \div 2 + 1.661$	14.42	M ³	
	F2 $(1.7 \times 0.75 + 2.09 \times 1.14) \times 0.65 \div 2 + 1.189$			
	F3 $(0.8 \times 0.5 + 1.19 \times 0.89) \times 0.65 \div 2 + 0.948$			
	F4 $(0.6 \times 0.6 + 0.99 \times 0.99) \times 0.65 \div 2 + 0.613$			
	F5 $(0.5 \times 0.5 + 0.89 \times 0.89) \times 0.65 \div 2 + 0.709$			
	F6 $(0.4 \times 0.4 + 0.79 \times 0.79) \times 0.65 \div 2 + 0.639$			
	F7 $(0.75 \times 0.5 + 1.02 \times 0.77) \times 0.45 \div 2 + 0.261$			
	F8 $(1.0 \times 1.0 + 1.24 \times 1.24) \times 0.4 \div 2 + 0.508$			
	F9 $(0.4 \times 0.4 + 0.64 \times 0.64) \times 0.4 \div 2 + 0.684$			
	F10 $(1.1 \times 0.3 + 1.34 \times 0.54) \times 0.4 \div 2 + 0.211$			
	F11 $(0.7 \times 0.3 + 0.94 \times 0.54) \times 0.4 \div 2 + 0.574$			
	F12 $(1.0 \times 0.7 + 1.147 \times 0.847) \times 0.245 \div 2 + 0.205$			
	F13 $(0.65 \times 1.0 + 0.724 \times 1.147) \times 0.245 \div 2 + 0.181$			
	F14 $(0.8 \times 0.7 + 0.874 \times 0.847) \times 0.245 \div 2 + 0.637$			
残土	F1 $0.98 \times 0.15 + 0.425 \times \pi / 4 \times 0.089 \times 0.089 \times 0.7 \times 2 + 0.581$	5.30	M ³	
	F2 $1.28 \times 0.15 + 0.411 \times \pi / 4 \times 0.089 \times 0.089 \times 2 \times 0.5 + 0.609$			
	F3 $0.8 \times 0.15 + 0.219 \times \pi / 4 \times 0.089 \times 0.089 \times 0.5 \times 2 + 0.345$			
	F4 $2.16 \times 0.15 + 0.585 \times \pi / 4 \times 0.089 \times 0.089 \times 0.5 \times 6 + 0.928$			
	F5 $2.0 \times 0.15 + 0.495 \times \pi / 4 \times (0.089 \times 0.089 \times 8 + 0.06 \times 0.06 \times 2) \times 0.5 + 0.816$			
	F6 $1.28 \times 0.15 + 0.212 \times \pi / 4 \times (0.049 \times 0.049 \times 6 + 0.034 \times 0.034 \times 2) \times 0.5 + 0.411$			
	F7 $0.38 \times 0.15 + 0.05 + 0.125 \times 0.04 \times 2 \times 0.3 + 0.11$			
	F8 $1.0 \times 0.1 + 0.162 \times \pi / 4 \times (0.06 \times 0.06 \times 2 + 0.049 \times 0.049) \times 0.1 + 0.263$			
	F9 $0.96 \times 0.1 + 0.108 \times \pi / 4 \times 0.049 \times 0.049 \times 1 \times 6 + 0.205$			
	F10 $0.33 \times 0.1 + 0.04 = 0.073$			
	F11 $0.84 \times 0.1 + 0.096 = 0.18$			
	F12 $0.7 \times 0.1 + 0.9 \times 0.6 \times 0.145 = 0.148$			
	F13 $0.65 \times 0.1 + 0.9 \times 0.6 \times 0.145 = 0.143$			
	F14 $2.24 \times 0.1 + 0.75 \times 0.6 \times 0.145 \times 4 = 0.485$			
埋戻	$14.42 - 5.3 = 9.12$	9.12	M ³	
基面整正	F1 $0.7 \times 0.7 \times 2 = 0.98$	15.60	M ²	
	F2 $1.7 \times 0.75 = 1.28$			
	F3 $0.8 \times 0.5 \times 2 = 0.8$			
	F4 $0.6 \times 0.6 \times 6 = 2.16$			
	F5 $0.5 \times 0.5 \times 8 = 2.0$			
	F6 $0.4 \times 0.4 \times 8 = 1.28$			
	F7 $0.75 \times 0.5 = 0.38$			
	F8 $1.0 \times 1.0 = 1.0$			
	F9 $0.4 \times 0.4 \times 6 = 0.96$			
	F10 $1.1 \times 0.3 = 0.33$			
	F11 $0.7 \times 0.3 \times 4 = 0.84$			
	F12 $1.0 \times 0.7 = 0.7$			
	F13 $0.65 \times 1.0 = 0.65$			
	F14 $0.8 \times 0.7 \times 4 = 2.24$			
基礎碎石	$t = 10 \text{cm}$	15.60	M ²	
捨コンクリート	$(0.98 + 1.28 + 0.8 + 2.16 + 2.0 + 1.28 + 0.38) \times 0.05 = 0.444$	0.44	M ³	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$

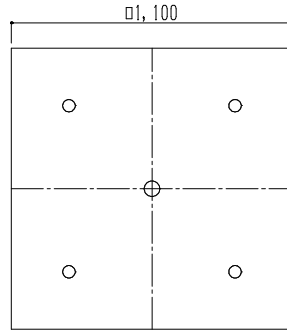
基礎数量表

1.0基当たり

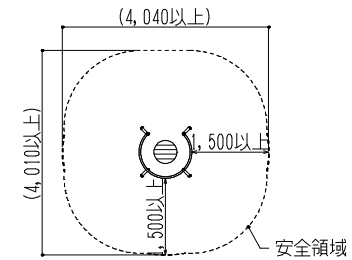
名称	計算式	数量	単位	摘要
コンクリート	F1 $(0.6 \times 0.6 - \pi / 4 \times 0.089 \times 0.089) \times 0.6 \times 2 = 0.425$	3.09	M ³	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$
	F2 $(1.6 \times 0.65 - \pi / 4 \times 0.089 \times 0.089 \times 2) \times 0.4 = 0.411$			
	F3 $(0.7 \times 0.4 - \pi / 4 \times 0.089 \times 0.089) \times 0.4 \times 2 = 0.219$			
	F4 $(0.5 \times 0.5 - \pi / 4 \times 0.089 \times 0.089) \times 0.4 \times 6 = 0.585$			
	F5 $(0.4 \times 0.4 + 8 - \pi / 4 \times (0.089 \times 0.089 \times 6 + 0.06 \times 0.06 \times 2)) \times 0.4 = 0.495$			
	F6 $(0.3 \times 0.3 + 8 - \pi / 4 \times (0.049 \times 0.049 \times 6 + 0.034 \times 0.034 \times 2)) \times 0.3 = 0.212$			
	F7 $(0.65 \times 0.4 - 0.125 \times 0.04 \times 2) \times 0.2 = 0.05$			
	F8 $0.9 \times 0.9 \times 2 = 0.162$			
	F9 $0.3 \times 0.3 \times 8 = 0.108$			
	F10 $1.0 \times 0.2 \times 0.2 = 0.04$			
	F11 $0.6 \times 0.2 \times 0.2 \times 4 = 0.096$			
	F12 $0.9 \times 0.6 \times 0.1 = 0.054$			
	F13 $0.9 \times 0.6 \times 0.1 = 0.054$			
	F14 $0.75 \times 0.6 \times 0.1 \times 4 = 0.18$			
型枠	F1 $0.6 \times 0.6 \times 4 \times 2 = 2.88$	24.93	M ²	
	F2 $(1.6 \times 0.65) \times 0.4 \times 2 = 1.8$			
	F3 $(0.7 \times 0.4) \times 0.4 \times 2 \times 2 = 1.76$			
	F4 $0.5 \times 0.5 \times 4 \times 6 = 4.8$			
	F5 $0.4 \times 0.4 \times 4 \times 8 = 5.12$			
	F6 $0.3 \times 0.3 \times 4 \times 8 = 2.88$			
	F7 $(0.65 \times 0.4) \times 0.2 \times 2 = 0.42$			
	F8 $0.9 \times 0.2 \times 4 = 0.72$			
	F9 $0.3 \times 0.2 \times 4 \times 6 = 1.44$			
	F10 $(1.0 \times 0.2) \times 0.2 \times 2 = 0.48$			
	F11 $(0.6 \times 0.2) \times 0.2 \times 2 \times 4 = 1.28$			
	F12 $(0.9 \times 0.6) \times 0.1 \times 2 = 0.3$			
	F13 $(0.6 \times 2 + 0.9) \times 0.1 = 0.21$			
	F14 $(0.75 \times 2 + 0.6) \times 0.1 \times 4 = 0.84$			



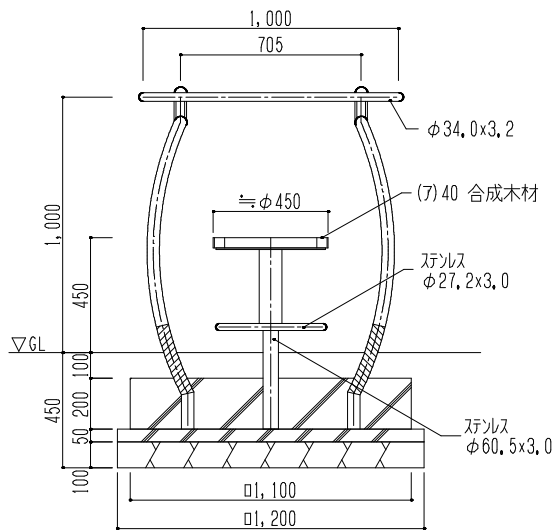
平面図 S=1:20



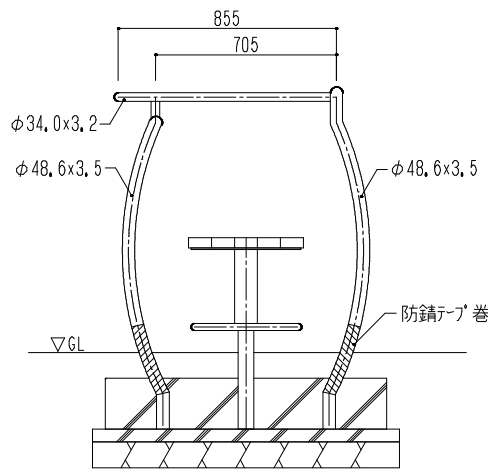
基礎伏図 S=1:20



安全領域図 S=1:100



立面図 S=1:20



立面図 S=1:20

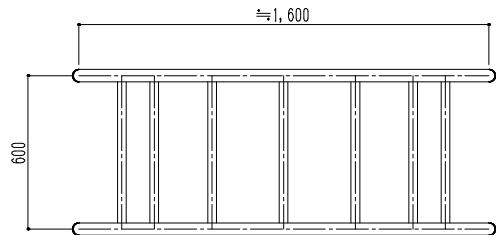
基礎数量表

1.0基当たり

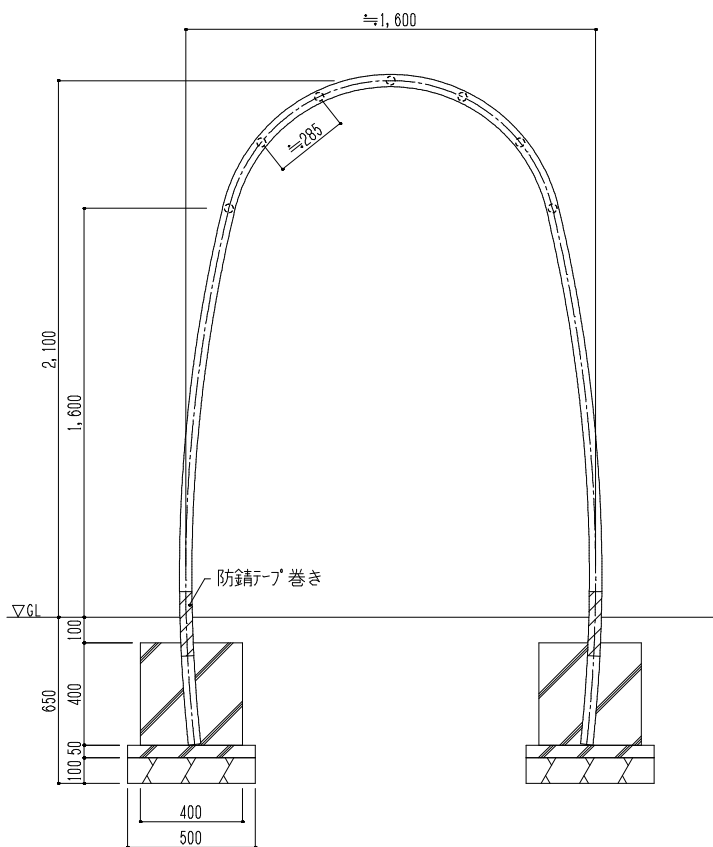
名称	計算式	数量	単位	摘要
床掘	$(1.2 \times 1.2 + 1.47 \times 1.47) \times 0.45 / 2$	0.81	m ³	
残土	$1.44 \times 0.1 + 0.07 + 0.24 + (0.06 \times 0.06 \times \pi / 4 + 0.05 \times 0.05 \times \pi / 4 \times 4) \times 0.3$	0.46	m ³	
埋戻	0.81 - 0.46	0.35	m ³	
基面整正	1.2 × 1.2	1.44	m ²	
基礎碎石	t=10cm	1.44	m ²	
捨コンクリート	t=5cm	0.07	m ³	σ _{ck} =18N/mm ²
コンクリート	$(1.1 \times 1.1 - 0.06 \times 0.06 \times \pi / 4 - 0.05 \times 0.05 \times \pi / 4 \times 4) \times 0.2$	0.24	m ³	σ _{ck} =18N/mm ²
型枠	1.1 × 0.2 × 4	0.88	m ²	

仕様

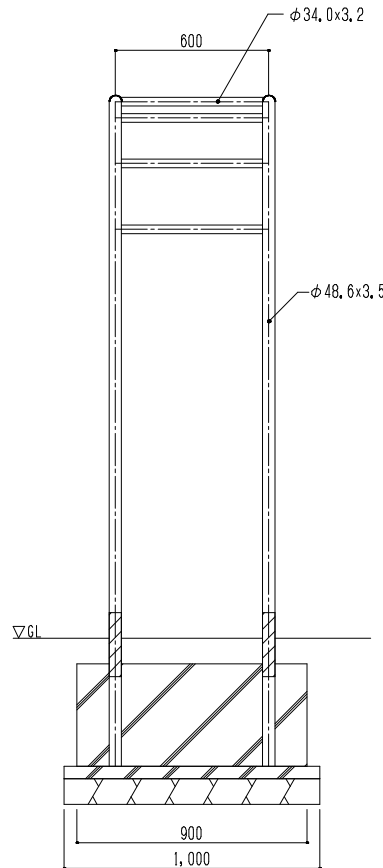
- 鋼材：溶融亜鉛メッキ(イス部はステンレス)、ウレタン塗装仕上
- SPLマーク表示認定製品とする。
- 一般公園施設製品の安全と品質に関する規準 JPFASPL-S:2014 に適合した製品とする。
- (一社)日本公園施設業協会の公園施設賠償責任保険に加入した製品とする。



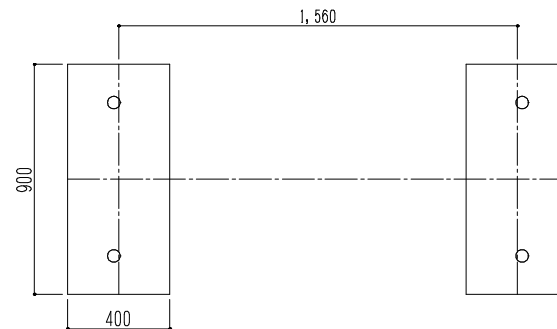
平面図 S=1:20



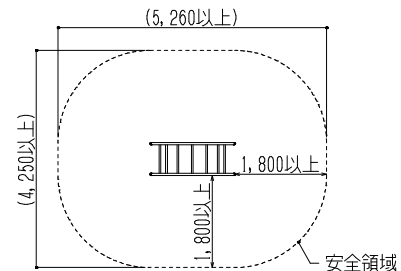
立面図 S=1:20



立面図 S=1:20



基礎伏図 S=1:20



安全領域図 S=1:100

基礎数量表

1.0基当たり

名称	計算式	数量	単位	摘要
床掘	$(1.0 \times 0.5 + 1.39 \times 0.89) \times 0.65 / 2 \times 2$	1.13	m ³	
残土	$(1.0 \times 0.5 \times 0.15 + 0.9 \times 0.4 \times 0.4 + 0.05 \times 0.05 \times \pi / 4 \times 0.1 \times 2) \times 2$	0.44	m ³	
埋戻	1.13 - 0.44	0.69	m ³	
基面整正	1.0 × 0.5 × 2	1.00	m ²	
基礎碎石	t=10cm	1.00	m ²	
捨コンクリート	t=5cm	0.05	m ³	σck=18N/mm ²
コンクリート	$(0.9 \times 0.4 - 0.05 \times 0.05 \times \pi / 4 \times 2) \times 0.4 \times 2$	0.28	m ³	σck=18N/mm ²
型枠	$(0.9 + 0.4) \times 0.4 \times 2 \times 2$	2.08	m ²	

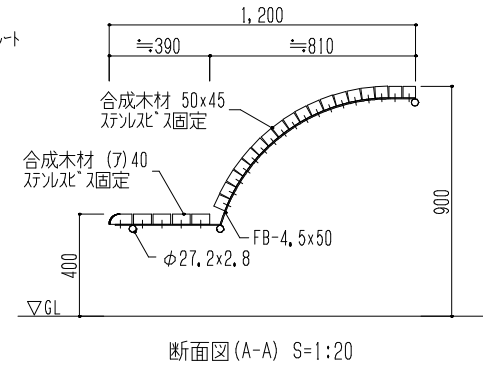
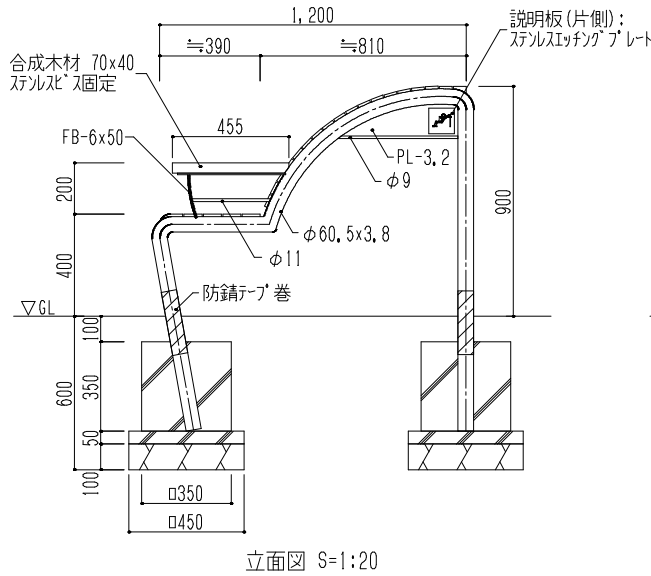
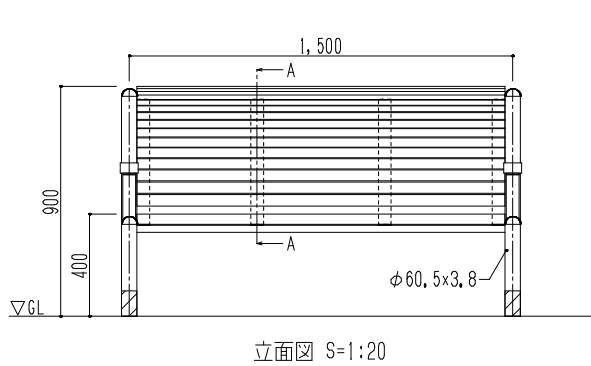
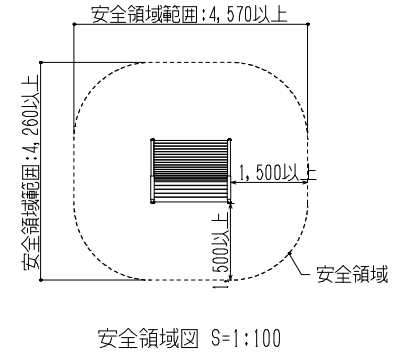
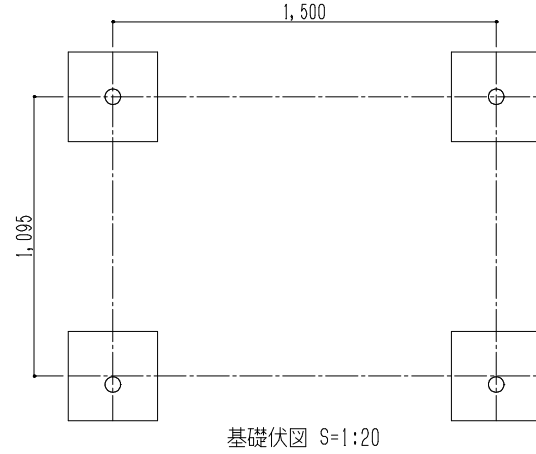
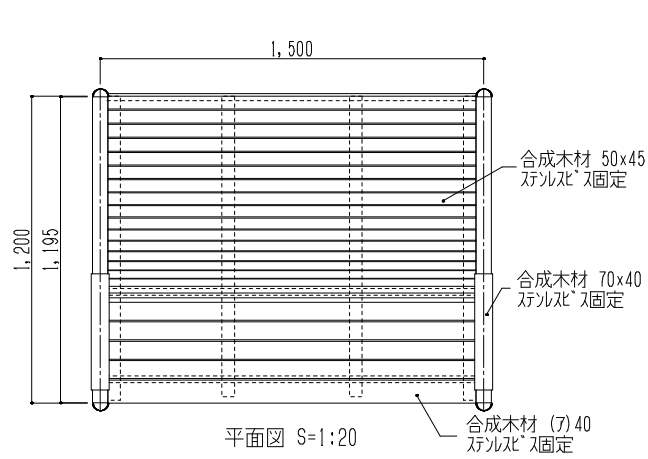
仕様

- ・鋼材：溶融亜鉛メッキ、ウレタン塗装仕上
- ・SPLマーク表示認定製品とする。
- ・一般公園施設製品の安全と品質に関する規準 J P F A - S P L - S : 2 0 1 4 に適合した製品とする。
- ・(一社)日本公園施設業協会の公園施設賠償責任保険に加入した製品とする。

基礎数量表

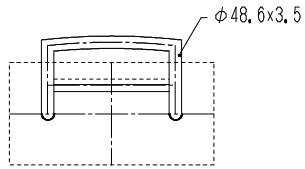
1.0基当たり

名称	計算式	数量	単位	摘要
床掘	$(0.45 \times 0.45 + 0.81 \times 0.81) \times 0.6/2 \times 4$	1.03	m ³	
残土	$0.81 \times 0.10 + 0.04 \times 0.17 + 0.06 \times 0.06 \times \pi / 4 \times 0.45 \times 4$	0.30	m ³	
埋戻	$1.03 - 0.30$	0.73	m ³	
基面整正	$0.45 \times 0.45 \times 4$	0.81	m ²	
基礎碎石	$t = 10\text{cm}$	0.81	m ²	
捨コンクリート	$t = 5\text{cm}$	0.04	m ³	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$
コンクリート	$(0.35 \times 0.35 - 0.06 \times 0.06 \times \pi / 4) \times 0.35 \times 4$	0.17	m ³	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$
型枠	$0.35 \times 0.35 \times 4 \times 4$	1.96	m ²	

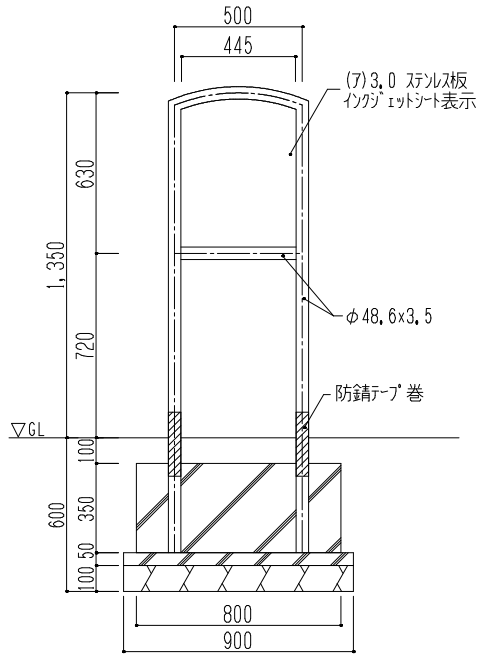


仕様

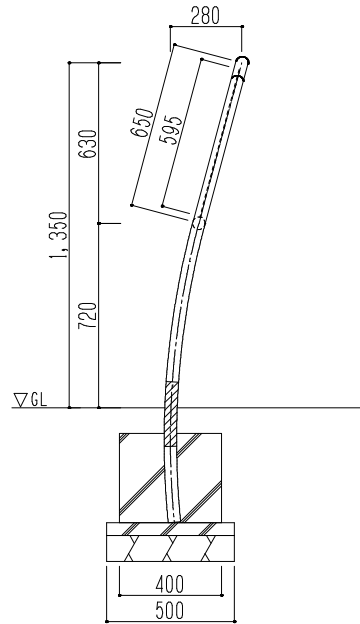
- 鋼材: 亜鉛メッキ、ウレタン塗装仕上
- SPLマーク表示認定製品とする。
- 一般公園施設製品の安全と品質に関する規準 JPFASPL-S:2014 に適合した製品とする。
- (一社)日本公園施設業協会の公園施設賠償責任保険に加入した製品とする。



平面図 S=1:20



立面図 S=1:20



立面図 S=1:20

基礎数量表

1.0基当たり

名称	計算式	数量	単位	摘要
床掘	$(0.5 \times 0.9 + 0.86 \times 1.26) \times 0.6 / 2$	0.46	m ³	
残土	$0.45 \times 0.11 + 0.02 + 0.11 + 0.05 \times 0.05 \times \pi / 4 \times 0.45 \times 2$	0.18	m ³	
埋戻	$0.46 - 0.18$	0.28	m ³	
基面整正	0.5×0.9	0.45	m ²	
基礎碎石	t=10cm	0.45	m ²	
捨コンクリート	t=5cm	0.02	m ³	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
コンクリート	$(0.4 \times 0.8 - 0.05 \times 0.05 \times \pi / 4 \times 2) \times 0.35$	0.11	m ³	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
型枠	$(0.4 + 0.8) \times 0.35 \times 2$	0.84	m ²	

仕様

- ・鋼材：溶融亜鉛メッキ、ウレタン塗装仕上
- ・SPLマーク表示認定製品とする。
- ・一般公園施設製品の安全と品質に関する規準J PFA-SPL-S：2014に適合した製品とする。
- ・(一社)日本公園施設業協会の公園施設賠償責任保険に加入した製品とする。